

大熊一夫監督・制作 「脱・精神病院への道 収容ビジネスの罪と罰 前編」
自主上映活動 スタート記念企画



特別試写会 監督挨拶

Web 講演会 精神病院の闇

辣腕弁護士 & 統合失調症・強制入院経験者

佐々木信夫の実体験に学ぶ

録画配信
あり!

申込×切
4/9(木)

日時

2026年4月12日(日) 13:00-16:00



佐々木信夫

佐々木信夫法律事務所

今から 56 年前、僕は都内の精神病院にアル中を装って潜入し、「ルポ・精神病棟」を新聞に連載しました。そこは人間が捨てられる場所でした。武見太郎日本医師会長は精神病院を「牧畜業者」と罵倒しました。さて今日、日本の精神保健環境は好転したのでしょうか。精神疾患に自身が翻弄された佐々木信夫弁護士に、壮絶人生を通して見たニッポンを語っていただきます。(大熊一夫 記)



大熊一夫
ジャーナリスト
当会代表



伊藤順一郎
精神科医
当会副代表

お申し込み

■以下の URL/QR コードからお申し込みください

<https://matto202604.peatix.com>

2026年4月9日(木)まで!

コンビニ/ATM でのお支払いは4月8日(水)まで

■参加費 2000 円

※入金後のキャンセルについてはご返金いたしません。
ご注意ください。

■お問い合わせ mattotokyo@gmail.com



プログラム

- 1) 映画「収容ビジネスの罪と罰 前編」予告編上映
- 2) 佐々木信夫弁護士が語る**精神病院・強制入院体験**
聞き手 「ルポ精神病棟」著者 大熊一夫
- 3) 鼎談 **良心を捨てるほど儲かる仕組み**でいいのか
佐々木信夫・伊藤順一郎・大熊一夫

主催 日本の Matto の町を考える会

Web 講演会 精神病院の闇

辣腕弁護士 & 統合失調症・強制入院経験者 佐々木信夫の実体験に学ぶ

●佐々木信夫(ささきのぶお)弁護士 略歴

1965 年東京生まれ 子供時代を愛知県知多半島で過ごす
1983 年 北海道立室蘭栄高校卒
1989 年 早稲田大学政経学部政治学科卒、トヨタ系メーカーに就職
1995 年頃「精神疾患のクライシス」「強制入院」を体験、会社退社
2000 年 司法試験の勉強を始める
2007 年 司法試験合格
2008 年 弁護士登録、銀座の田村護法律事務所入所
2015 年 横浜で独立
2021 年 石川県の精神病院での身体拘束死裁判で、最高裁が被告側上告を棄却、原告勝訴という
記念碑的判決が確定した時の原告側弁護士
【趣味】 語学 (スペイン語、韓国語)、ギター (ロック、クラシック)、読書、釣り、登山



●大熊一夫(おおくまかずお)

ジャーナリスト、いまドキュメンタリー映画作りに初挑戦。「日本の Matto の町を考える会」代表、元大阪大学大学院教授。元朝日新聞記者。1970 年に都内の私立精神病院にアルコール依存症を装って入院し、『ルポ・精神病棟』を朝日新聞に連載、鉄格子の内側の虐待を白日のもとに。2007 年フランコ・フランカ・バザーリア財団から第一回バザーリア賞を贈られる。

●伊藤順一郎(いとうじゅんいちろう)

精神科医。メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ院長、「日本の Matto の町を考える会」副代表。前職は国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 社会復帰研究部部長。専門は地域精神保健のシステムづくり。ACT (包括型地域生活支援プログラム) の研究・実践を 2002 年より行う。COMHBO (コンボ: 地域精神保健福祉機構) 共同代表。ODNJP (オープンダイアログ・ネットワーク・ジャパン) 基礎トレーニングコース第 1 期生。

お申し込み

- 以下のサイトからお申し込みください (クレジットカード、コンビニ支払い等に対応)

<https://matto202604.peatix.com>

- 入金後のキャンセルにつきましては、ご返金いたしません。ご注意ください。



申込締切日: 2026年 4月 9日 (木) 23:55 まで (コンビニ/ATMでのお支払いは、2026年4月8日(水)まで)

参加方法

- オンライン開催にはビデオ講演会システム ZOOM (ズーム) ウェビナーを使用します。
- パソコン、スマートフォン、タブレットからご参加いただけます。
- 参加用 URL とパスワードは、イベント前日、お申込み時のメールアドレス宛に、メールでお送りいたします。
 - ◆ 事務局からのメール (mattotokyo@gmail.com) が届くよう、あらかじめ受信設定、迷惑メール設定等を確認しておいてください。
 - ◆ 受信拒否設定等にしてある場合は、事務局からのメールが届かず、イベントに参加できないことがあります。特に、携帯電話やスマートフォンのキャリアメールから申し込まれる場合はご注意ください。
- イベント当日は、開始 20 分前から入室できます。URL をクリックし、パスワードを入力してご入室ください。
- 講演中、質問やご意見がある方は、「Q&A」という機能がありますので、そちらに書き込んでください。書き込んでいただいた内容は、参加者からも閲覧可能な設定といたします。
- イベント URL の第三者への提供、ならびに本講演会の録音・録画・撮影は固くお断りいたします。

録画配信

- 参加申込された方には、今回のイベントの様子を録画したものを視聴できるようにいたします。イベント終了後、準備ができ次第、メールにてあらためてご案内をお送りいたします。
- 録画配信の視聴期間は、2026年5月31日(日)までです。

自主上映会開催希望の方へ

- 大熊一夫監督・制作「精神病院のない社会」「収容ビジネスの罪と罰 前編」、自主上映会受付中!
- 当会 HP「上映会開催希望の方へ」をご覧ください!
<https://180matto.jp/kaisaihouhou.php>

